

第2回大宮南地域交響プロジェクト WS
都市部と Win-Win 関係（生活支援と田舎体験）による協働

- 日時 2021 年 10 月 27 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
- 場所 大宮南公民館／zoom（林／本願寺チーム：高橋氏・加茂氏）
- 参加者 名（別紙参加者名簿参照）
- 内容 ① 大宮南の現状（やりたいこと、やれそうなこと、情報共有）
- ・ 貸し出し中のスマートスピーカー4 台すべては稼働していない（やり取りする時間帯を決めたほうがよい）
 - ・ 来年度以降のスマートスピーカー管理者を選定（若者の協力者に声掛け）
 - ・ スマートスピーカーの場所を変えると Wi-Fi 環境の問題でつながらなくなってしまう
 - ・ 高齢者が外出できるようなイベントや活動を考えている（地域内交流が目的）
 - ・ 独居世帯の見守りについて、コロナの間は訪問自粛していた。電話での安否確認だったが、出られなかったり会話が続かなかったり等の問題があった。こういう方にこそ使ってほしいのに、Wi-Fi や操作の問題などから普及の難しさを感じている
 - ・ 80 代以上の高齢者に新しいものを操作させるのは難しいと感じている。スマートスピーカーを使って情報を流してもらう。情報を常時流せるといいのでは
 - ・ 高齢者でもスマホを持っている人はいるが LINE で会話やグループを作るのは現実的に考えて難しいのではないかと思う
 - ・ 見守りのためにスマホを高齢者に渡したが結局電話に出るしかできない。新しい機械（スマホやスピーカーなど）に対して感覚的に嫌がる感じがある
 - ・ スマートスピーカーなどを導入するときは、高齢者に対してはお手紙を出して意思の確認をしてみてもどうか
 - ・ 独居高齢者まではいかないが、一歩手前にきている人たちにはスマートスピーカーは比較的すすめやすいのではないか
 - ・ （本願寺）お寺で考える終活講座（エンディングノートの作成）を開催している。その講座の講師からも見守りカードは財布の中に必ず入れておかねばならないと言われているので作成を急ぐ
- ② Wi-Fi 環境の整備について→継続的に検討していかなければならない課題
- ・ Wi-Fi 個人加入の促進
 - ・ 屋外中継器の活用
 - ・ 企業等の協働
- ③ スマートスピーカーモニターの運営について
- ・ 14 台準備（参加者を募り、一定期間で交代していく）
 - ・ 見守り、日常のつながりを目的とした緩やかなルールづくり
 - ・ より使いやすくするためのオリジナルプログラムの開発（プログラムの更新が早い）
 - ・ 対象者は独居高齢者（それに限らなくてもよい）
 - ・ 使えるレベル（調べる、呼び掛ける、音楽を聴く、電話をかけることができるなど…）

- ・ レベル分けして支援の度合いを振り分け
- ・ アレクサアプリにわかりやすい名前（例：本部）を付けて時間を決めて呼びかけてもらう
- ・ 一定期間反応がない場合はスキルを活用して反応してもらえるように呼び掛ける。（管理者が反応のない利用者の端末を呼び出して、音声や画像で安否を確認する）
→「困りごとはないか？」「本部に電話して」「サロンで待っているよ」 etc.

★意見として

- ・ みんながみんな支援を欲しているわけではない。その人に合ったきめ細かな支援が必要だと思う。やれる人から始める方がいいのではないか。
- ・ 該当者全員をスマートスピーカーでカバーする必要はないと思う。できるところをカバーできればいいのではないか
- ・ あけぼの荘で協力してくれる人が何人かいる。あけぼの荘でワンチームとして活用してもいいのでは
- ・ 公共の Wi-Fi があれば、スマートスピーカーの導入ハードルも下がる（白浜町が全町 Wi-Fi 環境が整っている？）

次回第3回 WS…11月24日（水）13:30～15:30